

東京墨田看護専門学校 シラバス

開講期間：5月

科目名	国際・災害看護			コード			
領域	看護の統合と実践	対象学年	3年生	単位数	1単位	時間数	15時間
使用教科書	看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学			出版社	医学書院		
授業のねらい	<p>世界規模の健康問題を知り、国際協力の視点を持つことは重要である。その上で国際的に活躍している看護師の活動を通し、文化的背景の違いと看護について知り、国際的視野の理解を深める。</p> <p>災害に対する政策を知り、災害の分類、災害時の健康障害、PTSDなどの災害後の心の状態とケア、トリアージの方法、災害時のアセスメントなどについて学び、災害時の看護に対する責任と役割を理解する事をねらいとしている。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世界規模の健康問題を理解する。</li> <li>2. 看護活動による国際協力について知り、広い視野で将来の看護展望を考えることができる。</li> <li>3. 災害に対する制度、政策、組織について理解する。</li> <li>4. 災害における看護の役割を理解する。</li> <li>5. 災害現場において具体的な看護活動を知る。</li> </ol>						
評価基準	終講試験（100%）						

回	講義内容	教授方法等
1	国際看護の概念	講義
2	国際間の必要性	講義
3	日本の看護職による国際協力	講義
4	保健医療の現状と対策	講義
5	災害医療の基本と概念	講義
6	災害の特殊性と災害発生時の体制	講義
7	災害現場での活動と役割と健康被害	講義
8	終講試験	

東京墨田看護専門学校 シラバス

開講期間：4月～9月

科目名	看護マネジメント				コード		
領域	看護の統合と実践	対象学年	3年	単位数	1単位	時間数	30時間
使用教科書	看護管理 看護の統合と実践①				出版社	医学書院	
授業のねらい	看護は対象の個性に特化され、24時間ケアが提供される。しかし、看護活動はチーム医療の中で役割を求められ、組織を無視して活動することはできない。看護を取り巻く大きな組織の存在意義、目的、医療経済活動、それらに関する制度政策などを学習する。また、病院・施設等の組織決定プロセス、組織の行動理論も学習し、マネジメントは看護管理者のみが担うものではないことを理解する。加えて、医療の経済基盤、診療報酬制度と組織の医療の質を担保することは医療活動にとって不可欠で重要な要素であり、初学者としての経営視点を学ぶ。						
到達目標	看護管理の実践に必要な知識・技術が理解できる。						
評価基準	終講試験（100%）						

回	講義内容	教授方法等
1	看護管理の定義と構成要素	講義
2	看護におけるマネジメントとは	講義
3	看護ケアのプロセスと患者の権利	講義
4	安全管理の意義と医療事故対策	講義
5	チーム医療と多職種連携	講義
6	看護業務の実践	講義
7	看護職のキャリアマネジメント	グループワーク
8	看護サービスとその提供システム	講義
9	看護人材のマネジメント	講義
10	はたらく環境のマネジメント	講義
11	組織のリスクマネジメント・医療サービスの評価	講義
12	マネジメント手法	グループワーク
13	組織の調整	講義
14	看護活動をとりまく制度・政策	講義
15	まとめと終講試験	

東京墨田看護専門学校 シラバス

開講期間：4月～10月

科目名	看護研究			コード			
領域	看護の統合と実践	対象学年	3年	単位数	1単位	時間数	30時間
使用教科書	系統看護学講座別巻 看護研究			出版社	医学書院		
授業のねらい	実践の科学である看護行為を他者と共有し、学術知識や実践知識を発展させるためには看護研究による実証が不可欠である。研究とは系統的な探求であり、探求の基礎的な知識と手法を学び展開方法を知ることが目的とする。また、研究の倫理的姿勢、先行研究・文献検索の手法も学ぶ。臨地実習の事例をとおり、自己の看護ケアを検証することで初学者としての研究のプロセスを学習する。また、演習を通じて研究発表の態度を体現する。						
到達目標	1. 看護における研究の意義を理解する。 2. 研究の基礎的手法を理解する。 3. 研究計画書の作成ができる。 4. 研究的態度を養い、研究成果の発表ができる。 5. 抄録の作成ができる。						
評価基準	終講試験（50％）研究計画書の作成（30％）研究成果の発表（20％）						

回	講義内容	教授方法等
1	①研究とは何か ②なぜ研究が必要か	
2	①看護研究の役割と活用 ②研究における倫理的配慮	
3	①臨床での疑問と研究 ②研究対象者の権利と倫理	
4	①研究手法 ②文献検索とは	
5	①研究デザイン ②研究計画書とは	
6	文献検索	
7	文献検索	
8	研究（事例検討）の実際	
9	研究（事例検討）の実際	
10	研究（事例検討）の実際	
11	学内発表	
12	学内発表	
13	学内発表	
14	学内発表	
15	抄録の作成	

東京墨田看護専門学校 シラバス

開講期間：9月～10月

科目名	統合看護実践技術			コード			
領域	看護の統合と実践	対象学年	3年生	単位数	1単位	時間数	15時間
使用教科書	看護の統合と実践②「医療安全」			出版社	メディカ出版		
授業のねらい	<p>既習の内容から統合して看護する今まで学んだ知識の活用、臨床における環境の中で、看護を提供する方法を学ぶ。できるだけ看護の現場環境を意識し、看護学生から看護師としての役割を疑似体験していく。</p> <p>そのことで、数か月後に想定される臨床現場での基礎教育とのギャップ、リアリティーショックの軽減を図る。そのために臨床の場で求められる看護実践を安全で確実に提供できるよう、事故防止のための知識・技術を学ぶ。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 複数の課題解決に対する優先度を理解する。</li> <li>2. 複数患者のケアについて状況を判断し、援助計画の立案ができる。</li> <li>3. 予期しない事案に対し、安全安楽を確保した援助が実施できる。</li> <li>4. 多重課題に対し、チーム・他職種との連携を考慮した援助を実施できる。</li> </ol>						
評価基準	筆記試験（70%） 技術試験（30%）						

回	講義内容	教授方法等
1	看護の統合とは	講義
2	統合看護実践の特徴	講義
3	複数患者の情報収集、状況判断	講義
4	援助の優先度を考えた複数患者の援助計画立案	講義
5	複数患者への援助の実施・評価	講義
6	多重課題に対して必要で安全な援助の実施	講義
7	科目のまとめ	講義
8	終講試験・技術試験	